

# 代表質問

定例会初日に示された市長の施政方針や令和3年度予算案に対して行う「代表質問」は、3月3日、4日の2日間にわたり、各党派からの代表5人により行われました。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)

各議員の記事にあるQRコードを読み込むと、代表質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



誰もが夢と希望を持ち生き生きと活躍できる社会の実現を  
自民党・新政クラブ 高橋 文雄

一 「収」の一字にかける思いについて

市長は任期の最終年に当たり、その意気込みを「収」という漢字で表現したが、この一字にかける思いについて令和3年度予算にどのように反映したのか。

新たな都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市」の実現に向けて、過去最大となる524億3千万円の予算とした3年間の取り組みの成果を大きな果実として収穫するとともに、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた強い思いを込めて「収」の一字を掲げた。

二 今後の財政見直しについて

コロナ禍において、社会情勢が大きく変化する中で、予算編成



表丹沢をはじめとする我がまち秦野の魅力を全国に

創和会 谷 和雄

一 市長のまちづくりビジョンについて

2050年のゼロカーボンシティ実現を目指し(仮称)地球温暖化対策実行計画を策定することだが、取り組みはどのようなことか。

答 地域の53%を森林が占める本市では、森林整備が特徴的となる。併せて、省エネに努め、地域資源を生かしたバイオマスの活用などについても検討し、秦野らしさを生かした取り組みが地域経済の好循環にも寄与するようオール秦野で実現に向けた環境整備を進める。要望 環境に配慮した電気自動車への移行が世界的に加速しており、本市でも急速充電器の設置に早期に取り組んでほしい。

二 はだのクリーンセンター1施設

は、大変苦勞されたと推察する。市税収入が大幅に減少するなど、今後どのような財政見直しのもと、行財政運営を担っていくのか、その考えはどのようなか。

令和3年度の市税収入は、リマンショック後の平成21年度予算の9億円を上回る、過去最大の減収幅と見込んでいる。歳入面での自主財源の確保、効率的で効果的な支出に努めるとともに、社会情勢により見直しを図り、持続可能な行財政運営を推進していく。

三 女性の社会進出について

人生100年時代を迎え、誰もが夢と希望を持ち、生き生きと活躍できる持続可能なまちづくりには、女性の社会進出がますます重要であるが、取り組みはどうか。

答 具体的な施策としては、多様な



森林観光都市としてのイメージアップを

れる予定である。事業の実現は、産業利用促進ゾーンへの企業誘致の根幹となるものであり、本市としても不転換の覚悟で取り組む。要望 この計画は市民からの要望によって取り組んできた事業で、経済効果は明らかである。未来を生きる世代のために進めてほしい。

四 空き家を活用した移住促進について

な保育ニーズに対応する子育て環境の整備や、就労支援の充実、配偶者などからの暴力に対する相談体制の強化に取り組んできた。令和3年度からスタートする第4期はだの男女共同参画プランでは、新たにワークライフバランスの実現に向けた事業主への働きかけや、男女平等の理念を推進する教育を充実させるなど、女性の社会進出の推進に向けて引き続き取り組む。

要望 女性が働く環境や条件の整備を進めるとともに、女性自身の意識改革も必要と考える。あくまでも自然体で、男女を意識せず能力本位で評価する社会の実現に向けた取り組みを要望する。

四 地域医療の充実・強化について

秦野赤十字病院での分娩業務再開と小児科の充実が不可欠と考えるが、取り組みはどうか。

また、同病院は、地域医療の役割を果たすため、機能の充実に取り組みしている。このような良い情報を広く発信し、病院としての強みを

五 中学校給食の完全実施について

中学校給食の開始まであと10カ月となったが、学校給食における地産地消の推進はどうか。

答 地産地消の使用割合50%を目標に、できるだけ多くの特産物などを献立に取り入れることで、将来にわたる地産地消を推進したい。

六 健全で着実な財政運営について

コロナ禍における財源不足を踏まえた財政見直しはどうか。

を市民に伝えることも支援になると考えるが、どうか。

答 小児科と産婦人科は周産期医療の両輪であるとの認識のもと、小児科充実についても秦野赤十字病院と意見交換をしてきた。令和3年度は小児科医師2人が増員され、小児科の入院診療の再開が見通しがついた。こうした診療科の充実などを情報提供することは、市民サービスの向上とともに同病院への支援につながるかと考えている。

要望 神奈川病院を含め、市民や近隣市町村に対して、より一層の周知に努めてほしい。



病院の強みについて積極的な情報発信を



誰もが輝く未来のために新総合計画の着実な推進を  
公明党 横山むらさき

一 市長の政治姿勢について

令和3年度から秦野市新総合計画2030プランが始まる。超少子高齢・人口減少社会となり、コロナ禍で未来が不透明なこの難局を乗り越えていく上で、市長の「率先垂範」の精神はどうか。

二 地球温暖化対策について

2050年までにゼロカーボンシティを目指す方針が打ち出された。事業者や諸団体、市民と気候変動への危機感を共有するため、気候非常事態宣言を表明し取り組むべきと考えるが、どうか。

三 認知症にやさしいまちについて

認知症を患う人の尊厳が守られることが重要であり、当事者の立場に立つユマニチュードやタクティールといった介護技法の研修を取り入れてほしい。



障害などを抱える生活困窮者と農業者をつなぐ支援を

答 今後、共生と予防の両輪で施策を推進したい。研修については、介護技法に詳しい専門家に相談し、検討したい。

四 地域共生社会の構築について

多様性の時代において、互いに補い合う地域連携が大切である。農作業の担い手を求める農業と、自立支援としての福祉事業をマッチングさせる組織への支援が必要だが、どうか。

答 県とともに農福連携マッチング等支援事業に取り組んでおり、今後、課題解決に向けて本市の特性を生かした農福連携を推進する。ほか、ポストコロナの5つの重点施策について、未来に備える事業について、未来に希望をつくる事業などについて質問した。

## 議会の動向

- 2月
  - 16日(火) 代表者会議・議員連絡会
  - 19日(金) 議会運営委員会
  - 22日(月) 議会運営委員会
  - 26日(金) 市議会第1回定例会開会
- 3月
  - 3日(水) 本会議(代表質問)
  - 4日(木) 追加議案送付(代表質問)
  - 5日(金) 本会議(議会審議)
  - 8日(月) 本議案(議案審査委員会)
  - 9日(火) 予算決算常任委員会(令和3年度予算・総務分科会)
  - 10日(水) 予算決算常任委員会(令和3年度予算・文教福祉分科会)
  - 11日(木) 予算決算常任委員会(令和3年度予算・環境都市分科会)
  - 15日(月) 総務常任委員会(総務分科会)
  - 16日(火) 文書審査常任委員会(補正予算・文教福祉分科会)
  - 18日(木) 環境都市常任委員会(補正予算・環境都市分科会)
  - 19日(金) 本会議(一般質問)
  - 26日(金) 本会議(議案送付)
  - 29日(月) 議会運営委員会(議会運営委員会)
- 4月
  - 13日(火) 議会運営委員会(臨時)
  - 16日(金) 議会運営委員会(臨時)
- 5月
  - 7日(金) 議会運営委員会
  - 14日(金) 議会運営委員会

### 用語解説

※ユマニチュード…「人間らしくある」ことを意味するフランス語の造語。「大切に思っています」ということを相手理解できるように伝える技術と、その技術を使うときに理解しておくべき考え方で構成されている

※タクティール…ラテン語で「触れる」という意味があり、手を使って相手の背中や手足をやわらかく包み込むように触れるケアの技法